

(10)九州



九州地域では、景気は持ち直しの動きが緩やかになっている。

- ・ 鉱工業生産はこのところ減少している。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい。

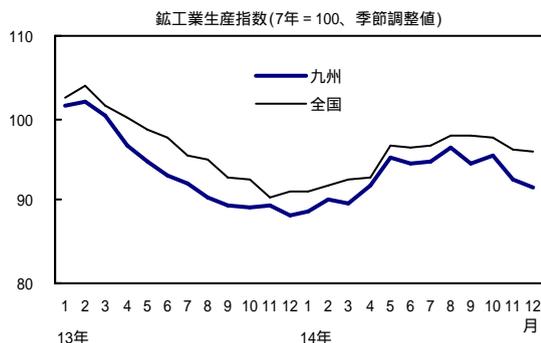
前回調査からの主要変更点

	前回（平成14年11月）	今回（平成15年2月）	
総括表現	持ち直しの動きが続いている	持ち直しの動きが緩やかになっている	
鉱工業生産	増加傾向	このところ減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はこのところ減少している。

電気機械は、集積回路が減少に転じ全体では大幅に減少した。食料品・たばこは、ビールなどが増加し、全体でも増加した。化学は、定期修理から生産水準を落としたが、ナイロン原料の輸出の増加などからおおむね横ばいとなっている。一般機械は、数値制御ロボットなどの産業機械が増加した。輸送機械は、自動車の北米向け輸出が依然として好調で高操業を続けている。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

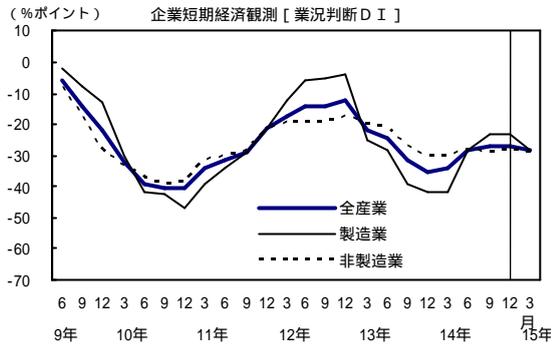
	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		7~9 月期	10~12 月期	10~12 月期	10~12 月期
電気機械	18.6	1.2	9.7	9.3	9.9
食料品・たばこ	10.8	3.3	1.6	0.0	0.3
化学	10.2	5.2	0.7	2.7	1.0
一般機械	10.2	8.8	3.0	4.0	5.7
輸送機械	9.5	2.0	2.5	1.6	10.4
鉱工業	100.0	1.4	2.1	2.1	3.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種

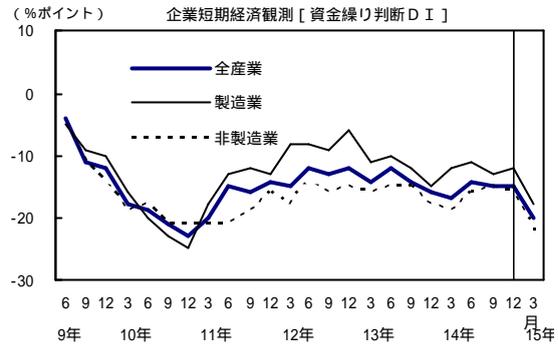
2. 10~12月期は速報値

(備考) 平成14年12月の九州速報値

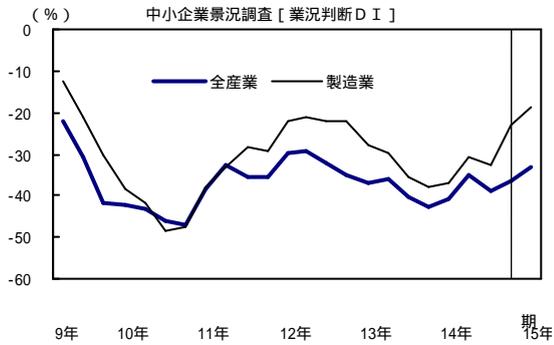
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「苦しい」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。
 企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。15年3月は予測。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。15年3月は予測。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。15年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(1月調査)[企業動向関連(現状判断)]

「新しい仕事はあまり多くない。受注の内容も、合理化やリストラに関するものが多い(経営コンサルタント)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

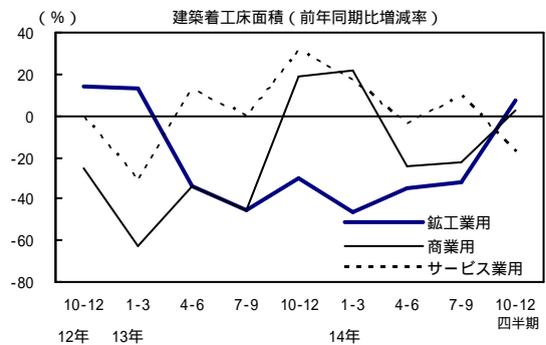
(3) 設備投資の14年度計画は前年度実績を下回っている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(12月調査)]

(前年度比増減率、単位：%)

	13年度実績	14年度計画
全産業	11.6	5.5 (1.8)
製造業	27.7	3.6 (3.4)
非製造業	3.4	8.9 (1.0)

(備考)()は前回(9月)調査比修正率。

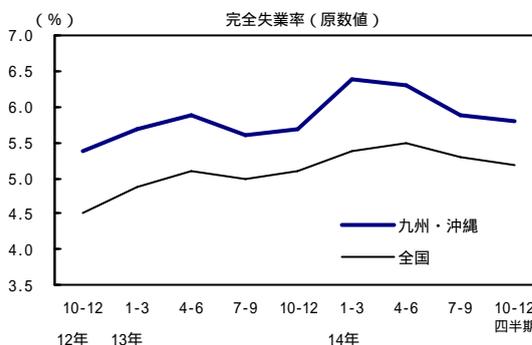
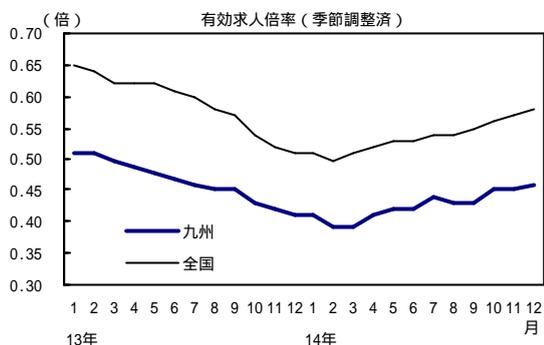


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は依然として厳しい。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は緩やかに上昇している。完全失業率は前年同期を上回り、高い水準にある。



景気ウォッチャー調査(1月調査)[雇用関連(現状判断)]

「年が明けて年度末需要期に入ったが、昨年、一昨年に比べてその伸びが大きく落ち込んでいる(民間職業紹介機関)」など、「やや悪くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	14年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	15年1月
倒産件数	411	422	402	423	116
(前年比)	0.7	0.2	14.6	19.1	5.7
負債総額	1,403	3,178	1,326	2,821	235
(前年比)	71.2	192.6	31.6	43.0	36.4



景気ウォッチャー調査(1月調査)[合計D I(特徴的な判断理由)]

<現状>

・ここにきて大手半導体メーカーの企業格差が出てきており、忙しいところと暇なところが極端に分かれている(電気機械器具製造業)。

<先行き>

・自動車関連以外の取引先の新規案件の見積りもなく、先行き不透明である(一般機械器具製造業)。

